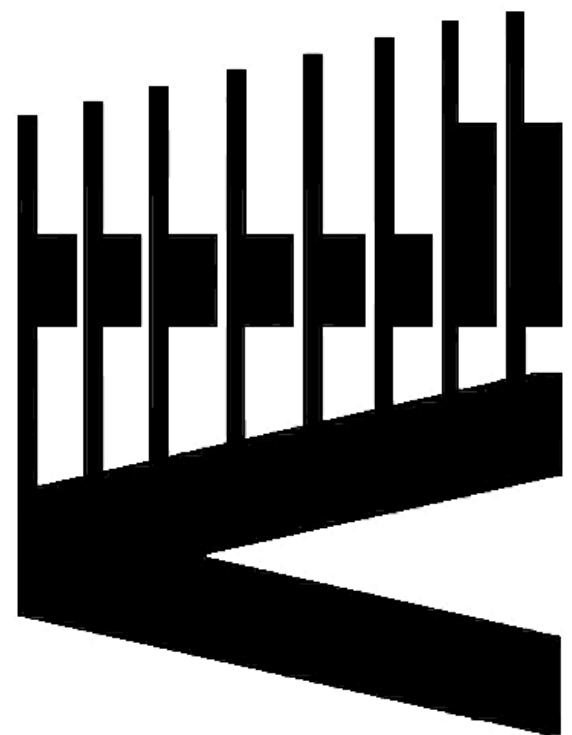
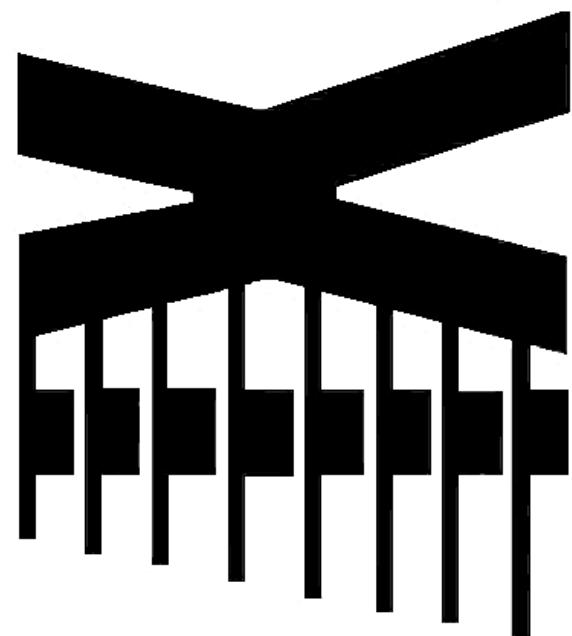


V/Aエラーモニタリングシステム
V/A ERROR MONITORING SYSTEM

コントロールソフトウェア取扱説明書
Ver. 4. 1. 9



目 次

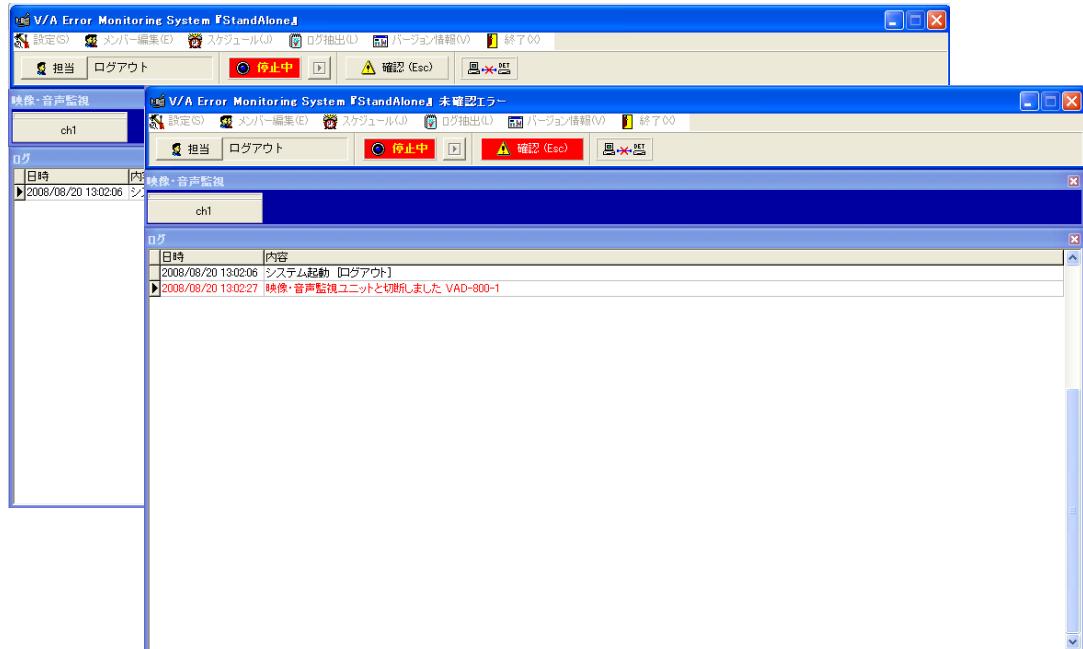
	ページ
概 要	2
1. 運用中画面説明	4
2. 担当者管理について	5
2-1. 担当者の種類	5
2-2. 担当者登録方法	6
3. 設定 (メニューバー)	10
3-1. システム設定	10
(1) 起動時	10
(2) 時刻補正	11
(3) ログ	12
(4) テキスト読み上げ	14
(5) メールサーバーの設定	15
(6) 動作モード	16
(7) キー設定	16
3-2. DETユニット (エラー検出装置) 設定	17
(1) チャンネル数の設定	17
(2) コミュニティチャンネルの設定	18
(3) チャンネル名称の設定	19
(4) 各チャンネルごとのアラーム設定 (マスク値の設定)	21
(5) ロケーションデータの設定	23
(6) アラームの音声とログの設定	25
(7) アドレスとポートの設定	27
3-3. パトライト (オプション)	28
3-4. マルチビューワ (オプション)	31
(1) アドレスとポート (I)	31
(2) 初期設定 (D)	31
(3) 映像・音声監視との連動 (R)	33
(4) バックアップ (B)	34

4. スケジュール機能	35
4-1. 個別スケジュールの編集	35
4-2. 週間スケジュールの設定	36
4-3. スケジュール動作時の前後時間設定	37
4-4. EPG データ取得によるスケジュールの自動登録	38
5. ログ抽出 (メニューバー)	41
6. バージョン情報 (メニューバー)	42
7. 終了 (メニューバー)	42
8. 運用方法	43
9. 特記事項	46
9-1. インストールフォルダにあるファイルについて	46

概要

- このコントロールソフトウェア（以下、本ソフト）は、V/Aエラー検出装置からの映像・音声のエラー情報を総合的に管理し、監視項目についてエラー情報を通知します。
- V/Aエラー検出装置を最大20台・160チャンネルまで同時に監視できます。システム設定により、チャンネル数・背景色等運用コンピュータ上に表現するGUIを選択することができます。
- エラー通知と同時に該当するチャンネルのボタンが赤く変化し、ログウィンドウにエラー内容を表示します。エラーの確認操作・エラーの自動復帰でエラー発生チャンネルのボタン色が緑・黄・通常（灰）色に変化することで、状況を把握することができます。
- ログウィンドウには検知開始・停止、エラー確認操作、担当者変更、各種設定変更等も表示します。ログの内容は表計算・データベースソフトにて処理できるCSV形式でファイルに保存することができます。
- 監視チャンネル毎にチャンネル名称やエラー毎の判定通知時間を設定することができます。
- スケジュール機能を装備し、この機能を利用してチャンネル毎のミュート設定・解除が可能です。

運用画面／起動直後

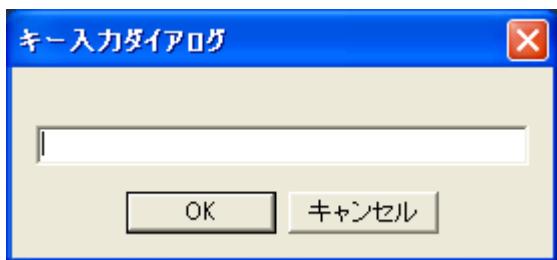


エラー発生画面

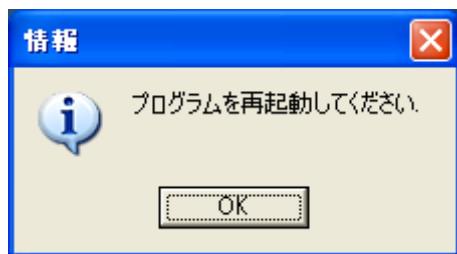
O. 初回起動時の認証について

①認証キーの設定について

インストール後、最初の起動時には認証キーの入力が必要です。販売元から配布された認証キーを入力してください。



②正しいキーを入力すると、本ソフト再起動のメッセージが表示されます。 これ以降は通常に起動します。



1. 運用中画面説明

運用中は下記のような画面になります。



2. 担当者管理について

2-1. 担当者の種類

本ソフト起動時は、担当者に【ログアウト】が設定されています。

担当者が【ログアウト】の状態では、エラー検知のみを行い、エラーの確認や各項目の設定など
ができない状態となっています。

担当者には下記の3種類があります。

1. administrator 【デフォルトの管理者】

本ソフトインストール時にデフォルトで登録されている担当者です。

※ デフォルトのログインパスワードは【[admin]】となっております。

インストール後、パスワードの変更をお願いいたします。

2. 管理者ユーザー

上記“administrator”と同じ権限を持つ担当者です。

エラーの確認、エラーログの検索の他、検知停止・開始・マスク値の変更、その他全ての
設定項目の変更が可能です。

3. 運用者ユーザー

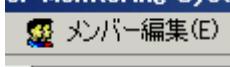
エラーが発生した際の確認・エラーログの検索のみ可能です。

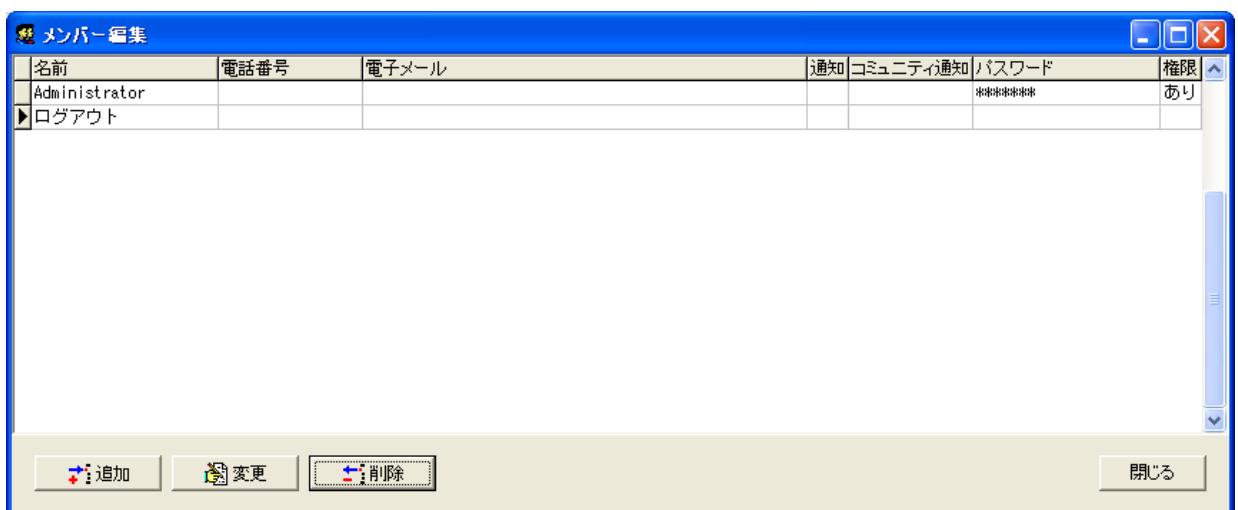
2-2. 担当者登録方法

①インストール直後の画面

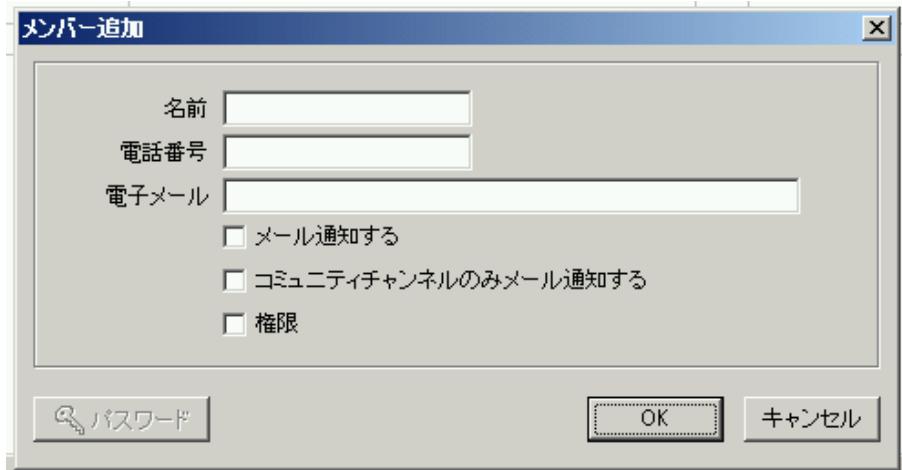


 **担当** ボタンをクリックすると、上記画面が表示されます。
インストール直後は、“Administrator”と “ログアウト”しかありませんので、
“Administrator”でログインしてください。(デフォルトのパスワードは【[admin]】です。)

②メニューバーの  をクリックすると、下記画面が表示されます。



- ③  ボタンで、新規担当者を登録します。(下記画面となります。)



- 名 前：担当者の名前を入力します。（*入力必須）
- 電話番号：オプションでモデムを取り付けることにより、エラーが起きた際に発信する電話番号を入力します。
- 電子メール： メール通知する にチェックをつけ、メールサーバーを設定することにより（“2-1-（5）メールサーバーの設定”を参照）、エラーが発生した場合にメール通知する宛先アドレスです。
- コミュニティチャンネルのみメール通知する：コミュニティチャンネルを設定した場合（ページ“2-1-（5）メールサーバーの設定”を参照）、コミュニティチャンネルにエラーが発生した場合のみメール通知します。
- 権限：ここにチェックをつけると、前ページに述べた“管理者ユーザー”となります。（ここにチェックが無い場合は、“運用者ユーザー”となります。）

- ④ 必要事項を入力し、 ボタンをクリックします。

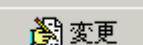


まだパスワードは設定できません。

⑤ 担当者が追加されます。



⑥ 担当者のログインに、パスワードを追加する場合。

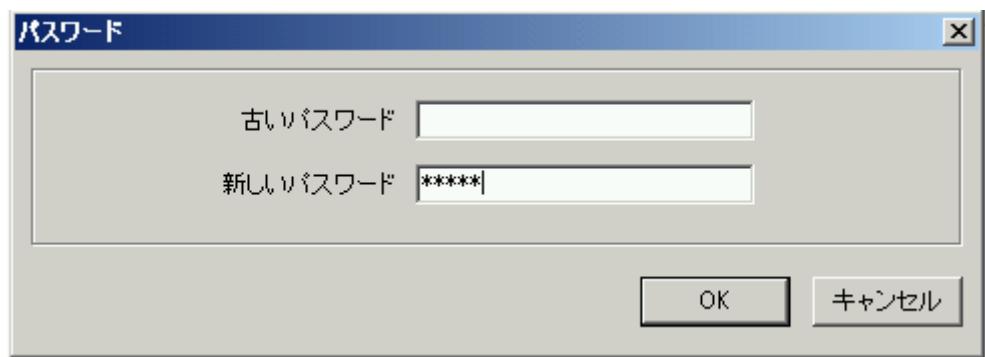
追加したい担当者にカーソルを移動し、ダブルクリックするか  ボタンをクリックします。



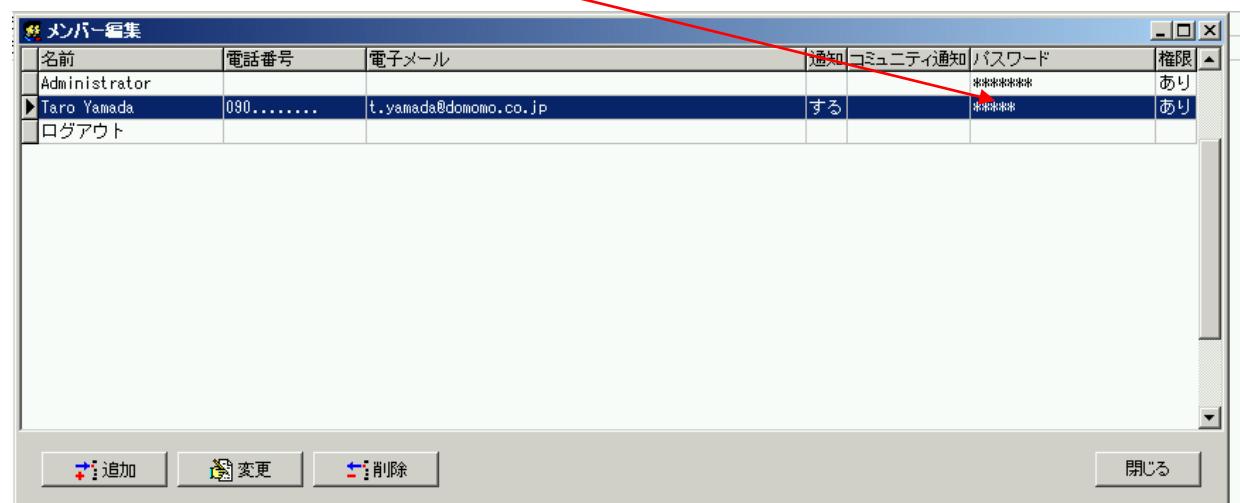
このボタンをクリックすると、下記画面が表示されます。



“古いパスワード”は、デフォルトでは何も入っていませんので、入力しないでください。
“新しいパスワード”の方に、パスワードを入力してください。



パスワードが登録されました。



A screenshot of a Windows-style application window titled "メンバー編集" (Member Edit). The window displays a table of member information with the following columns: 名前 (Name), 電話番号 (Phone Number), 電子メール (Email), 通知 (Notification), コミュニティ通知 (Community Notification), パスワード (Password), and 権限 (Permissions). The table contains three rows: "Administrator" (Name: Administrator, Phone: 090....., Email: , Notification: する (Do), Community Notification: なし (None), Password: *****, Permissions: あり (Yes)), "Taro Yamada" (Name: Taro Yamada, Phone: 090....., Email: t.yamada@domomo.co.jp, Notification: する (Do), Community Notification: なし (None), Password: ***** (highlighted with a red arrow), Permissions: あり (Yes)), and "ログアウト" (Logout). At the bottom of the window are buttons for "追加" (Add), "変更" (Change), "削除" (Delete), and "閉じる" (Close).

名前	電話番号	電子メール	通知	コミュニティ通知	パスワード	権限
Administrator	090.....		する	なし	*****	あり
Taro Yamada	090.....	t.yamada@domomo.co.jp	する	なし	*****	あり
ログアウト						

3. 設定（メニューバー）

3-1. システム設定

●チャンネル表示ボタン数、運用メイン画面の背景色ほか、エラーログ、システムエラー発生時再生音、時刻合わせ等の設定を行ないます。

①メニューバーの“設定 (S)”の“システム (S)”を左クリックします。



②システムメニューが表示されます。

(1) 起動時

起動時のミュート動作を設定します。



チェックを付けると、本ソフト終了時のミュート状態を保持します。

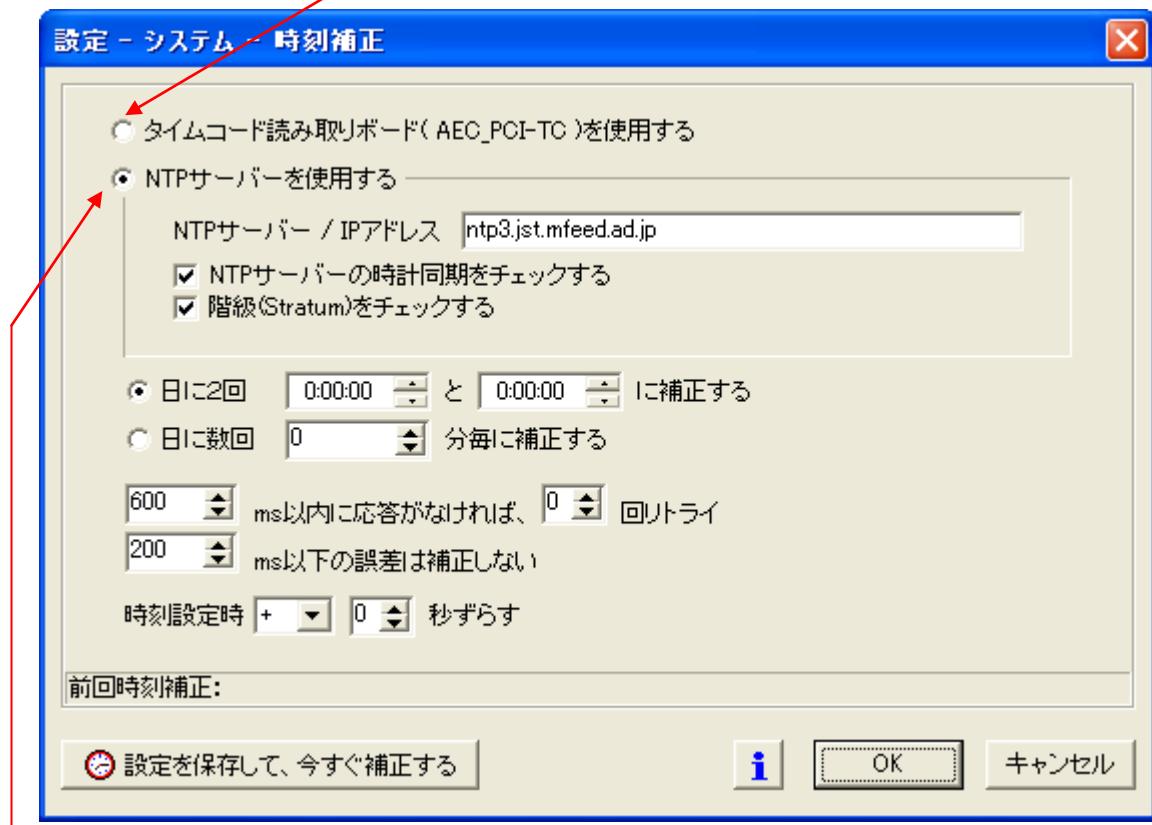
チェックをはずすと、本ソフト起動時、常にミュート解除状態となります。

(2) 時刻補正

運用コンピュータの時刻補正方法を設定します。

時刻の補正方法は、2通りあります。

A. タイムコードボードがパソコンに増設されている場合、ボードを使って時刻を補正することができます。その際は、こちらにチェックをつけてください。



B. パソコンがインターネットに接続されている場合、NTPサーバーを使って時刻を補正することができます。その際は、こちらにチェックをつけ、お使いになるNTPサーバーのIPアドレスを入力してください。

＊＊ 注意事項 ＊＊

- ・<23:55:00 ~ 0:05:00> の間は 補正処理を行いません。
- ・補正時刻を<0:00:00>に設定すると補正処理を行いません。
- ・ 日に2回 にチェックした場合、2つの時刻は最低3分以上あけてください。

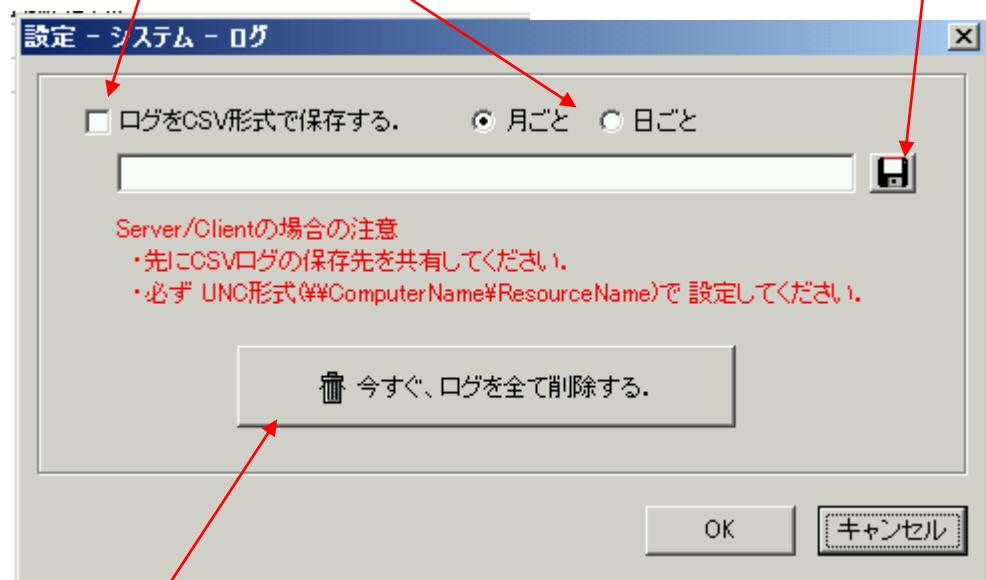
(3) ログ

ログの全削除実行と CSV 形式のログ保存について設定します。

ログを保存する場合に、チェックをつけます。

ログを CSV 形式で、1ヶ月単位または日単位で保存できます。

このボタンを押して、保存場所を指定します。



このボタンを押すと、今までのログが全て削除されます。

<ファイル名>

保存される CSV ファイル名は運用コンピュータのシステム日付（西暦年・月・日）より、

・ 月ごと を選択 : “9999_99.csv” (西暦年_月. CSV)
例. 2008_08.csv

・ 日ごと を選択 : “9999_99_99.csv” (西暦年_月_日. CSV)

例. 2008_08_01.csv

の CSV ファイル形式で作成・保存されます。

<ログ保存フォルダの指定方法>

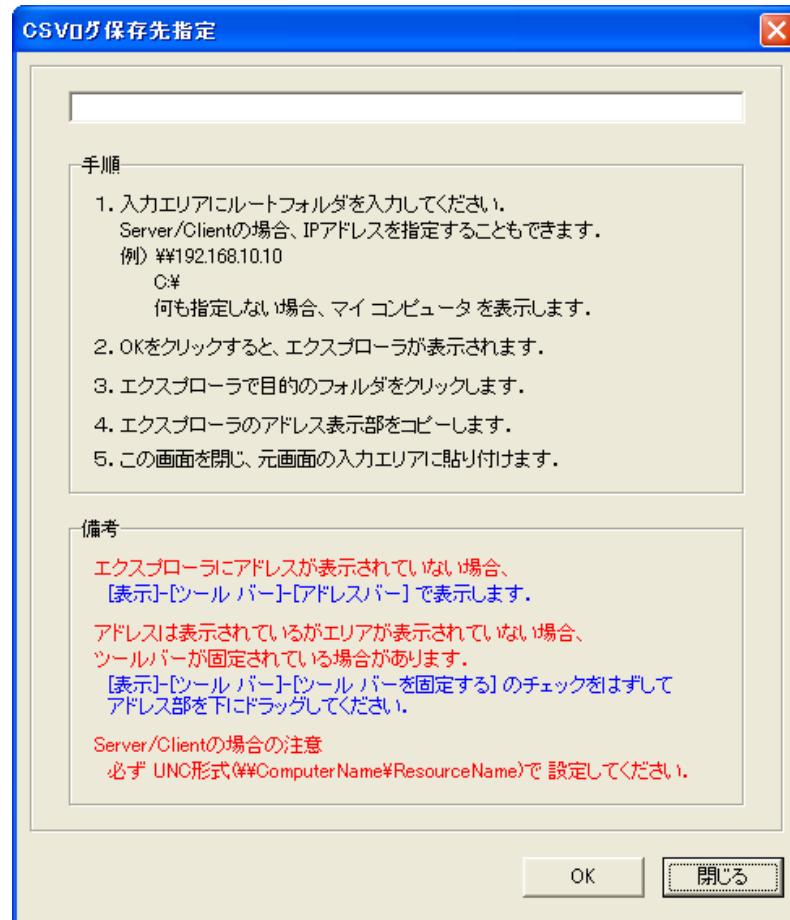


に直接入力するか、



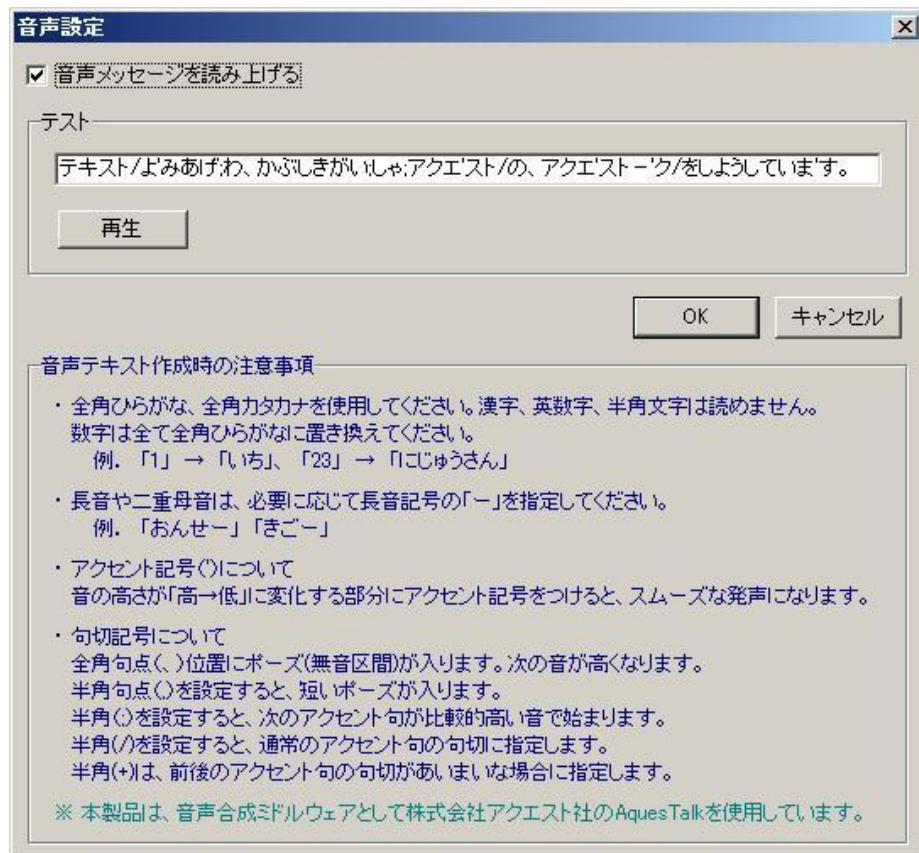
をクリックします。

表示される手順に沿って、保存先フォルダを設定します。



(4) テキスト読み上げ

エラー発生時にエラーメッセージを音声で読み上げる設定を行います。



① 音声読み上げの設定

チェックを付けると、エラー発生時、スケジュール開始・停止時に音声案内を行います。

チェックをはずすと、音声案内は行いません。

② テスト読み上げ

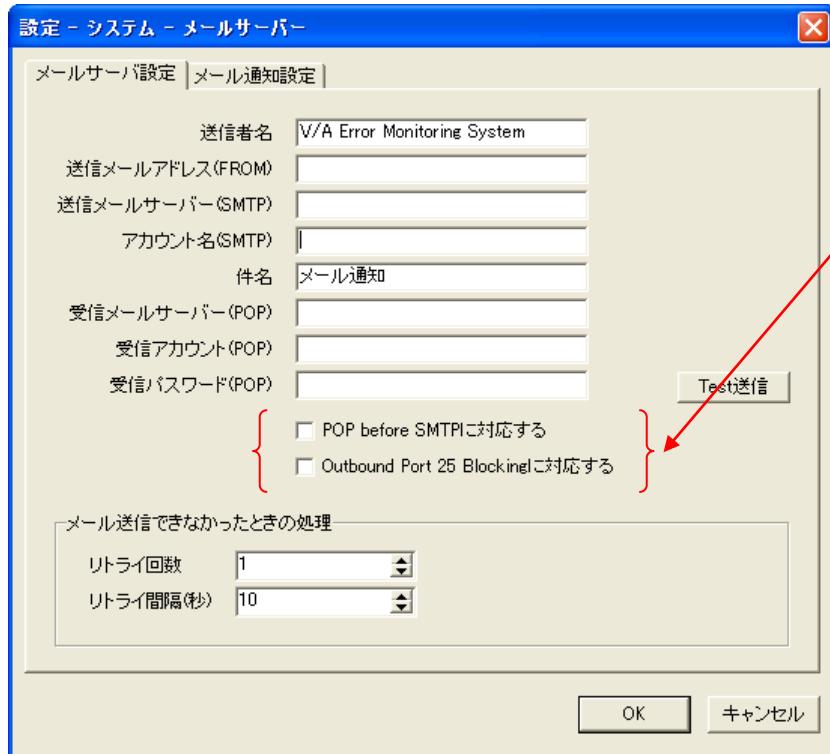
再生

ボタンをクリックすると、「テスト」に表示されているテキストを読み上げます。

(5) メールサーバーの設定

運用コンピュータがインターネットに接続されている場合、エラー発生をメールで通知することができます。メール送信する場合は、メールサーバーの情報を設定してください。

① メールサーバー設定

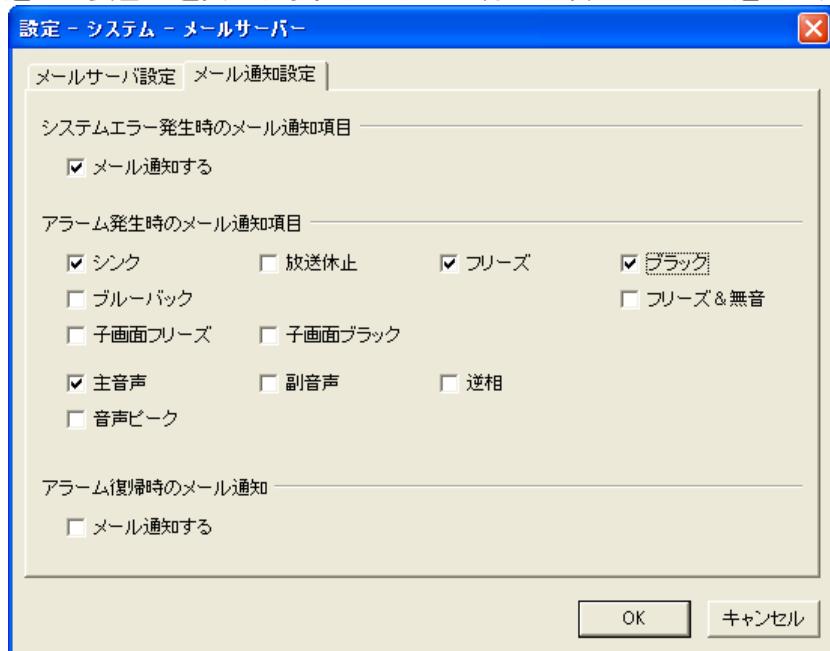


メール送信できなかったときの処理ではメール送信をリトライします。

リトライ回数とリトライ間隔を設定してください。

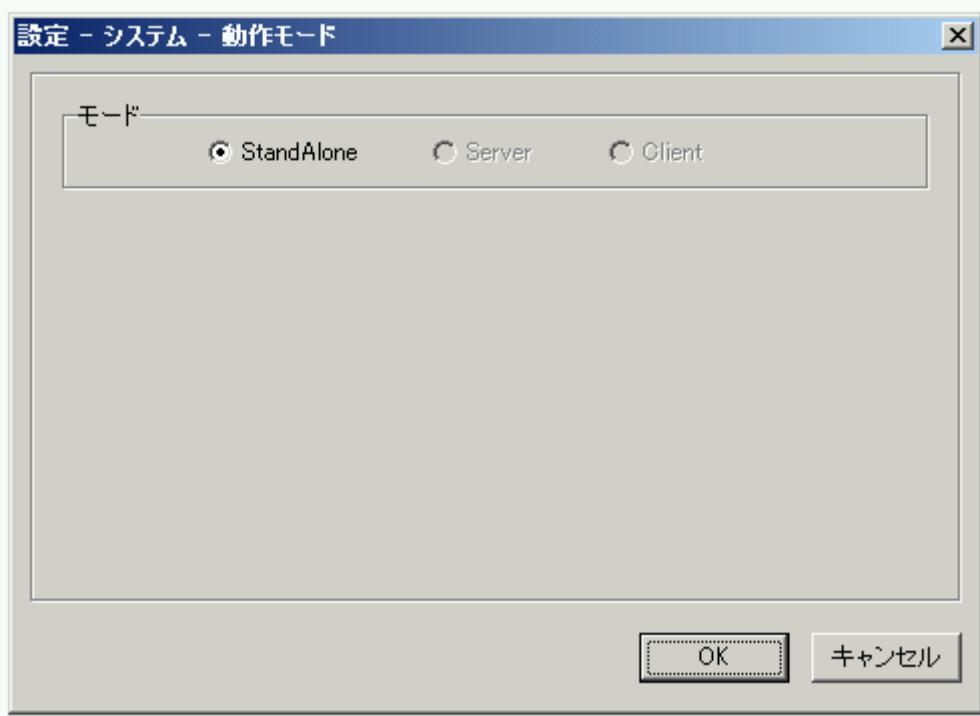
② メール通知設定

メール通知の要否を選択します。チェックを付けた項目のメール通知を行います。



(6) 動作モード

クライアント機が増えるなど、システム形態が変わる場合に設定します。



(7) キー設定

クライアント増設の場合に、新たに発行される認証キーを設定します。



3-2. DETユニット（エラー検出装置）設定

エラー検出装置のIPアドレス・ソケットポートやエラー検出時のアラーム・ログメッセージ、チャンネル毎の名称・マスク値（エラーと判定する時間）を設定します。

（1）チャンネル数の設定

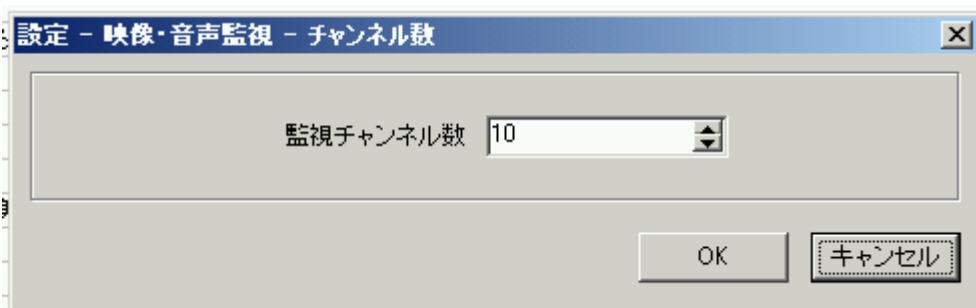
①映像・音声監視（D）のチャンネル数（N）を選択します。



②下記メッセージがでます。チャンネル変更後は、プログラムを再起動してください。



③監視チャンネル数を「1」～「160」の範囲で設定してください。



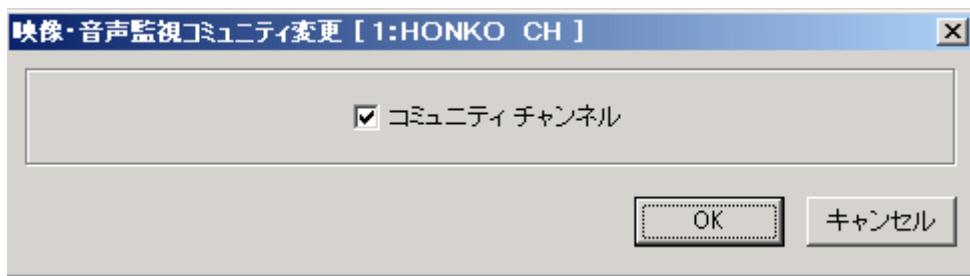
(2) コミュニティチャンネルの設定

コミュニティチャンネルに設定すると、そのチャンネルのエラー発生時にメール送信することができます。

① 映像・音声監視 (D) のコミュニティ (T) を選択します。



② VAD (D) のチャンネル数 (N) を選択します。



(3) チャンネル名称の設定

①メニューバーの“設定 (S)”の“映像・音声監視 (D)”をクリックします。

②“チャンネル名 (C)”をクリックします。

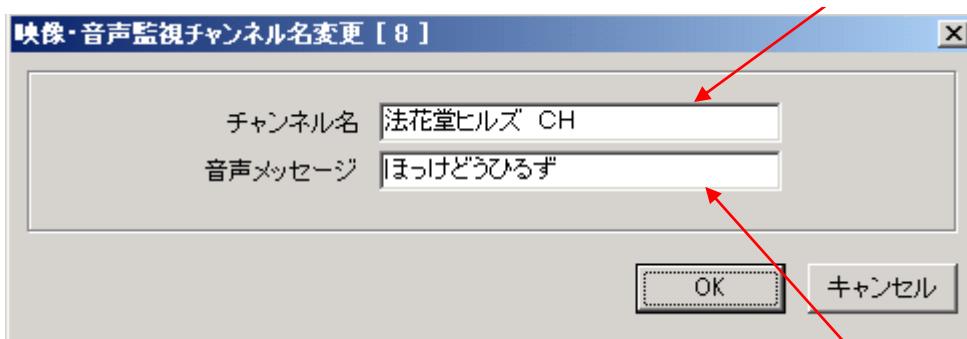


③チャンネル名

変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて、『変更』ボタンをクリックします。

④チャンネル名称変更

運用中の表示画面のボタンに示される文字です。



音声メッセージで読み上げられるチャンネル名を入力します。

⑤チャンネル名称が設定されます。

(4) 各チャンネルごとのアラーム設定（マスク値の設定）

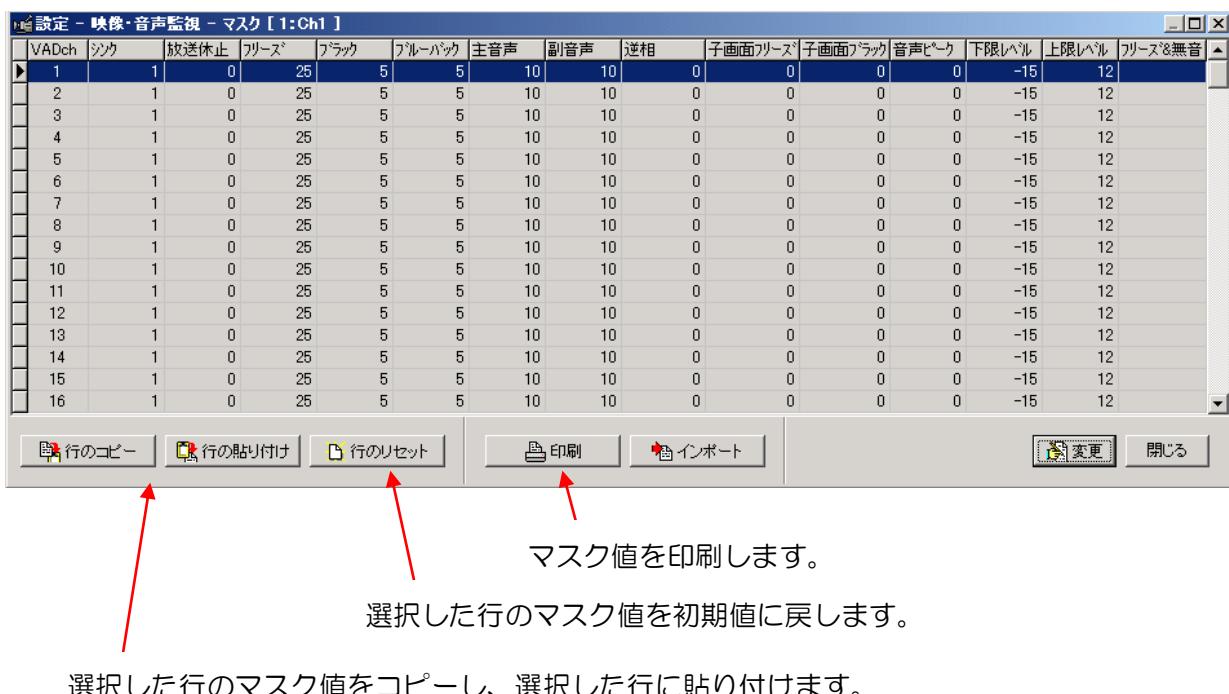
各検知項目のマスク値を設定します。

マスク値とは：サーバーが、エラー検出装置からの連続するエラー情報を、エラーとして判定・通知するまでの時間です。

① 設定（S）の映像・音声監視（D）の『マスク（M）』をクリックします。

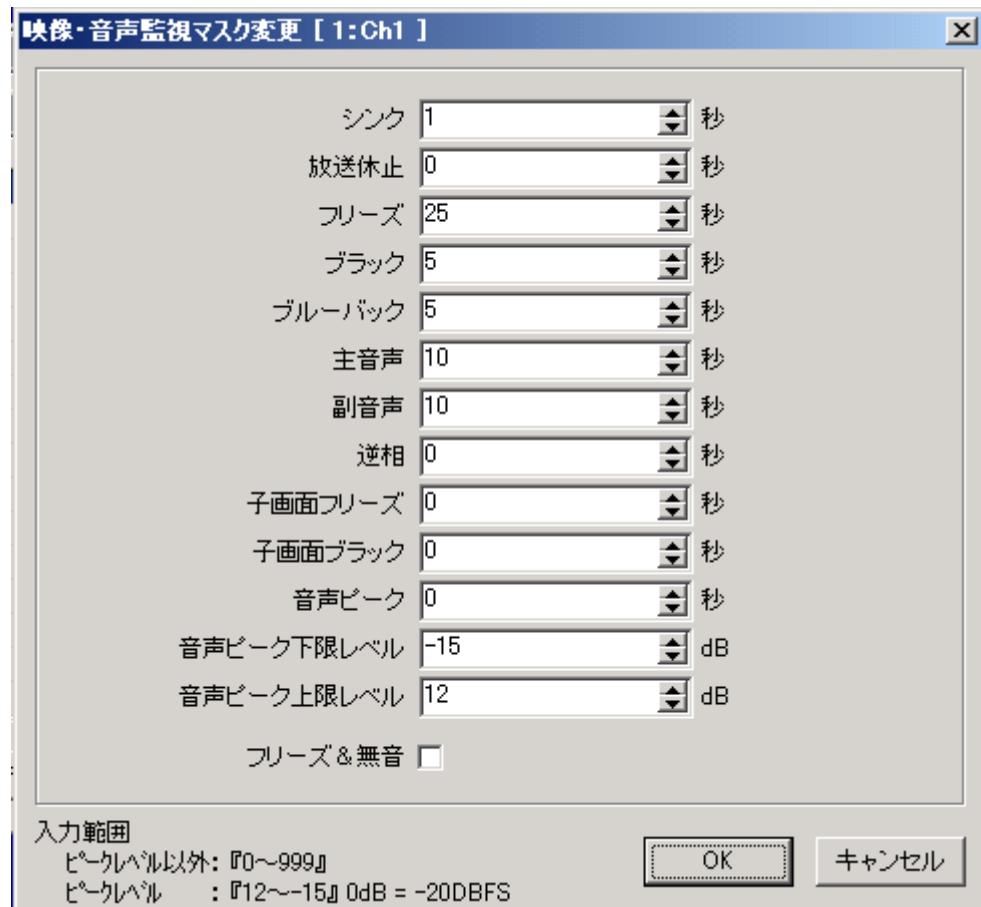
②マスク値の画面が表示されます。

変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて、『変更』ボタンをクリックします。



選択した行のマスク値をコピーし、選択した行に貼り付けます。

③マスク値を設定します。



- ・ 1秒～999秒間で設定が可能です。0秒の項目は検知対象外とします。
- ・ 音声のピークレベルについては、『12～-15』dBの範囲で設定できます。
- ・ 『フリーズ』と『無音』のみ “アンド” 設定ができます。
※フリーズ&無音とフリーズが有効（マスク値1以上）で、フリーズのみ発生した場合、ログ出力のみを行い、ボタン色の変更、及び、音声案内は行いません。

【マスクの優先順位】

1. シンク：エラー発生時は、他のエラーは通知しません。
2. 放送休止：放送休止中は、シンクのみエラー通知し、他のエラーは通知しません。
3. その他のマスク値は全て同列です。

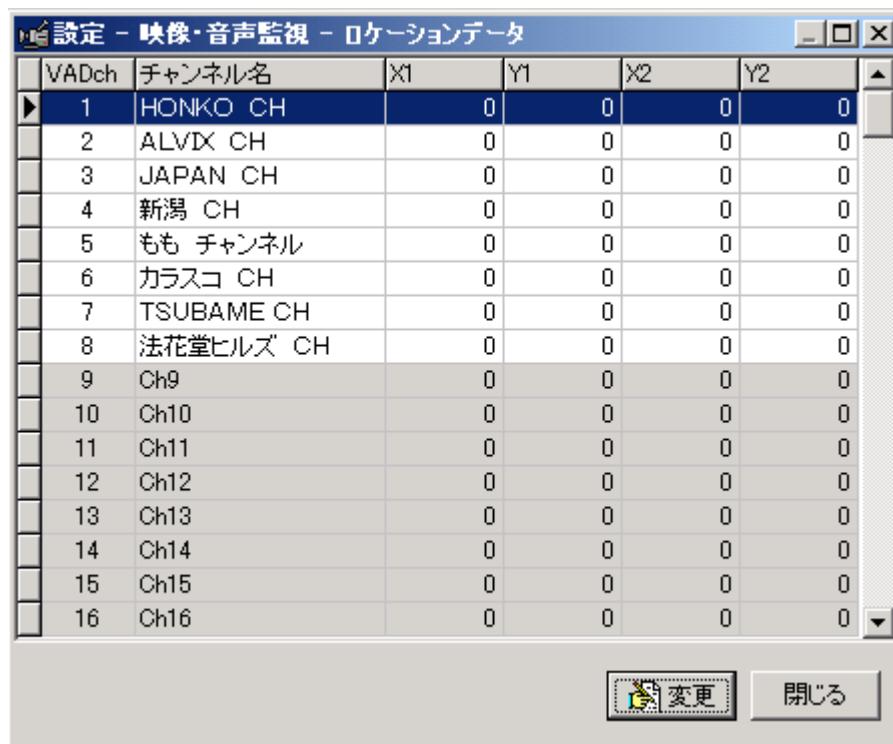
＜子画面について＞

子画面のあるチャンネルで、子画面とベース画面別々にエラー検知をする場合の設定です。

子画面は、次ページ『ロケーションデータ』で設定します。

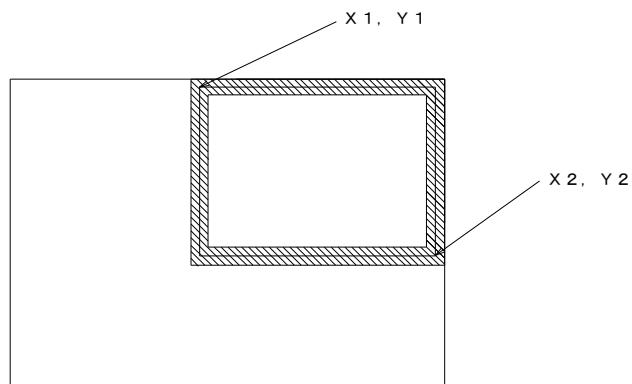
(5) ロケーションデータの設定

- ①設定 (S) の映像・音声監視 (D) の『ロケーションデータ (L)』をクリックします。
- ②変更したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルをあわせて、『変更』ボタンをクリックします。



③各検知項目のマスク値を設定します。

画面上にウィンドウ画面がある場合、その部分を指定して、ベース画面とは別にフリーズとブロックを個別に検知することが出来ます。



上図のように、ウィンドウの外枠の座標 X1,Y1、X2,Y2 を指定します。指定すると、モニタ出力から
ウィンドウ画面の座標の枠が出ます。

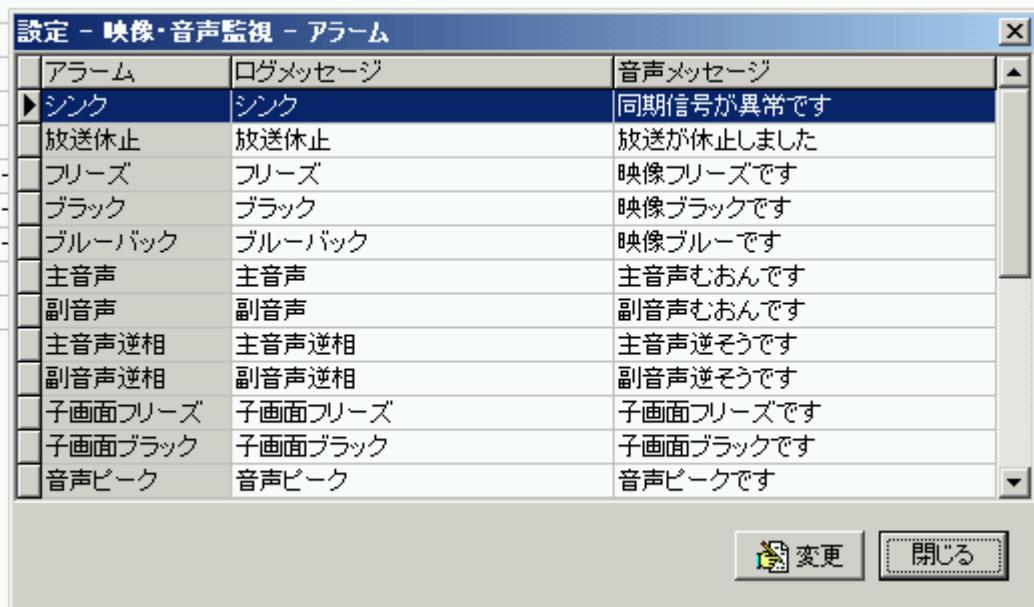
ベースとウィンドウ画面の切替わりラインが白帯の中間に来るよう設定して下さい。

(6) アラームの音声とログの設定

①映像・音声監視 (D) の『アラーム (A)』をクリックします。

②エラー検出時のログメッセージと音声ファイルの再生設定をします。

変更したいアラーム項目をダブルクリックするか、カーソルをあわせて、『変更』ボタンをクリックします。



③変更画面が表示されます。

ログに表示したいメッセージを入力します。



※テキストの読み上げには、「Microsoft Agent」のインストールが必要です。

(7) アドレスとポートの設定

①映像・音声監視 (D) の『アドレスとポート (I)』をクリックします。

②設定したいNo. の項目をダブルクリックするか、カーソルをあわせて、『変更』ボタンをクリックします。



③接続されているV/Aエラー監視ユニットなどのIPアドレス・ソケットポートを設定します。



3-3. パトライト (オプション)

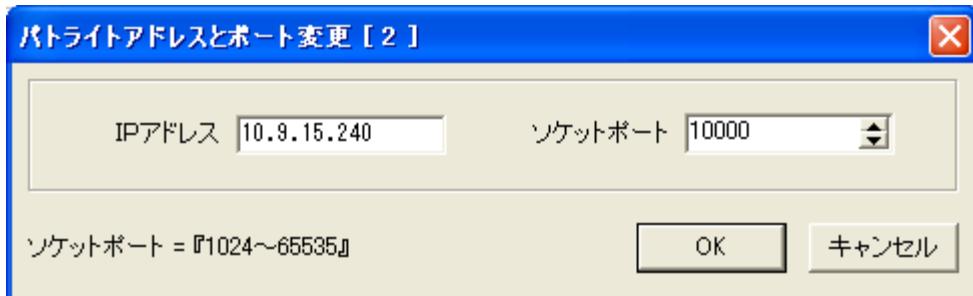
パトライトのIPアドレスとソケットポートの設定をします。

①『パトライト (O)』の『アドレスとポート (I)』をクリックします

②設定したいNo. の項目をダブルクリックするか、カーソルをあわせて、『変更』ボタンをクリックします。



②接続されているパトライトのIPアドレスとソケットポートを設定します。



パトライトのランプ点灯とブザー音を任意に登録した時間動作させることができます。

①『パトライト (O)』の『設定 (S)』をクリックします



②不動日の設定

不動日の設定を行うと、パトライト動作を行いません。

動作日の設定を行うと、動作時間帯内でパトライト動作を行います。

＜日曜日の設定＞

日曜日 にチェックすると、不動日となります。

カレンダーの日曜日部分がミュート設定色（ピンク）に変わります。

日曜日 のチェックを外すと、動作日となります。

カレンダーの日曜日部分がミュート解除色（赤）に変わります。

※ 日曜日の個別設定はできません。

＜日曜日以外の設定＞

カレンダーの日付をダブルクリックすることで、不動日、動作日を切り替え、設定が保存されます。

 (動作日) ⇔  (不動日)



③動作時間帯の設定

- ・開始時間と終了時間の間、パトライト動作を行います。
 - ・開始時と終了時にログを出力します。
- ※ 開始時間と終了時間と同じにすると動作時間帯をチェックしません。
- ※ 開始時間 > 終了時間の設定は行えません。

④自動復帰の設定

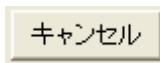
- ・設定範囲は「0～300秒」です。「0」に設定すると自動復帰しません。
 - ・本設定は全チャンネル有効です。
- アラーム発生～自動復帰までの間に別のアラームが発生すると、自動復帰時間がリセットされるため、自動復帰時間が延長されることになります。

④ 設定の保存とキャンセル



ボタンを押すと設定が保存されます。

※ 日曜日以外の不動日設定のみ、ダブルクリックによる設定で保存されます。



ボタンを押すと設定がキャンセルされます。

⑥ メイン画面のパトライト接続表示

不動日または、動作時間帯外では、ミュート色（ピンク）に色変わりします。



3-4. マルチビューワ (オプション)

VADシリーズと、“アルビクス”マルチビューワ・MVシリーズとの連動動作設定をします。

①設定 (S) の『マルチ・ビューワ (M)』をクリックします



(1) アドレスとポート (1)

接続されているパトライトとIPアドレスとソケットポートを設定します。

マルチビューワが接続されると、下記メニューが設定可能となります。

(2) 初期設定 (D)

各画面ごとのマルチビューワの設定を行います。



①設定したいマルチビューワの画面の番号を左クリックします。

② 下記設定画面が表示されます。それぞれの項目を設定します。

マルチビューワ画面に表示するch名を設定します。

VADのユニットに設定されているch名が表示されます。



(3) 映像・音声監視との連動 (R)

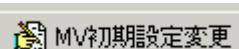
VADのチャンネルとマルチビューワーの画面をリンクさせる設定画面です。



ChNo	チャンネル名	マルチビューワーNo	行	列
1	HONKO CH	1	A	3
2	ALVID CH	1	A	2
3	JAPAN CH	1	A	3
4	新潟 CH	1	A	4
5	もも チャンネル	1	A	5
6	カラスコ CH	1	B	1
7	TSUBAME CH	1	B	2
8	法花堂ヒルズ CH	1	B	3
9	Ch9	1	B	4
10	Ch10	1	B	5
11	Ch11	1	C	1
12	Ch12	1	C	2
13	Ch13	1	C	3
14	Ch14	1	C	4
15	Ch15	1	C	5
16	Ch16	1	D	1

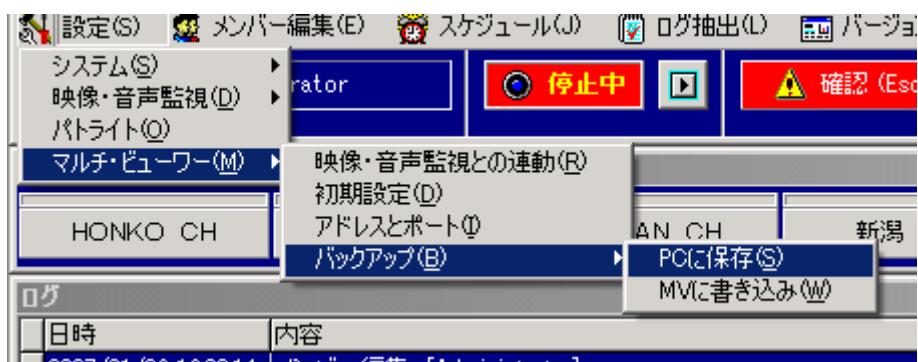
Buttons at the bottom: MV初期設定変更 (highlighted), 変更 (highlighted), 閉じる

- ① 設定したいチャンネルをダブルクリックするか、カーソルを移動して  を押します。
- ② 下記画面が表示されますので、リンクさせたい画面をクリックします。

- ③  を押すと、初期設定 (D) 画面になります。

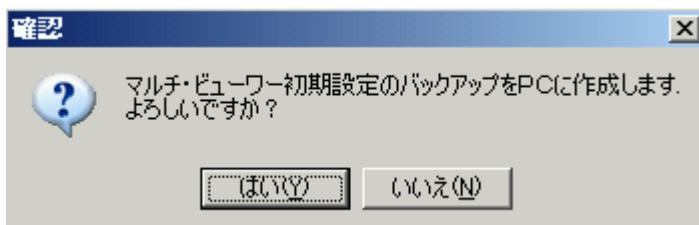
(4) バックアップ (B)

マルチビューワのデータのバックアップを作成します。



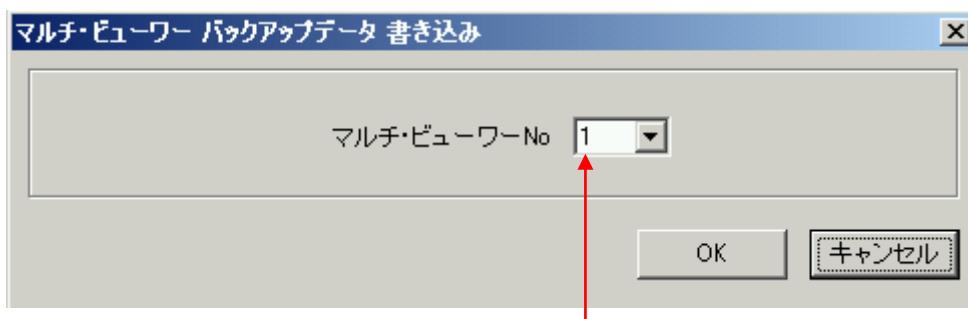
① PCに保存 (S)

パソコン内にバックアップデータを保存します。



② MVに書き込み (W)

マルチビューワ内にバックアップデータを保存します。



書き込みたいマルチビューワのユニットNo. を選択します。

4. スケジュール機能

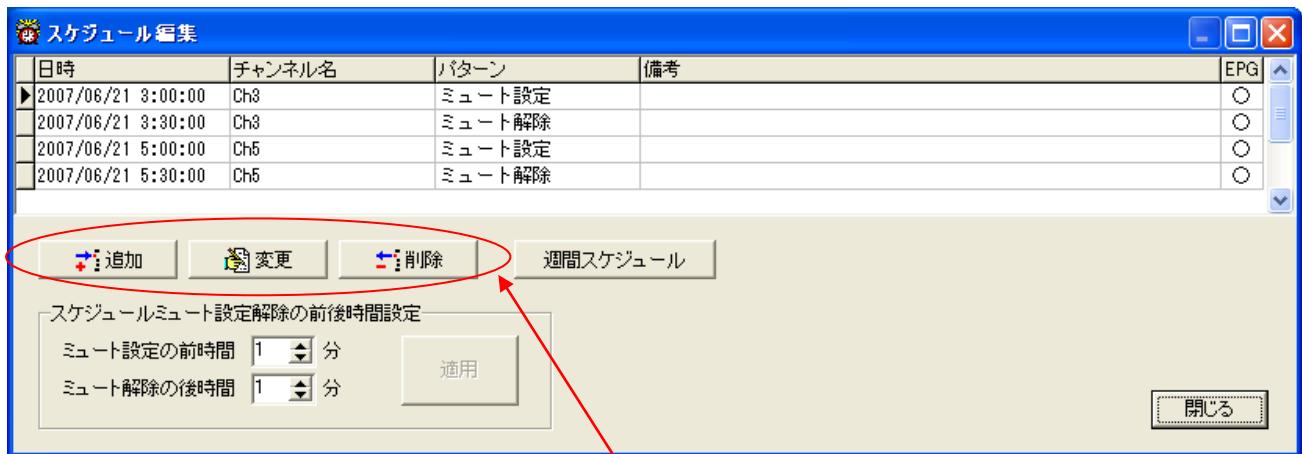
●スケジュール機能により、指定の日時に特定のチャンネルを検知対象から除外（ミュート）したり、ミュート解除したりすることができます。

4-1. 個別スケジュールの編集

①スケジュール編集画面の表示

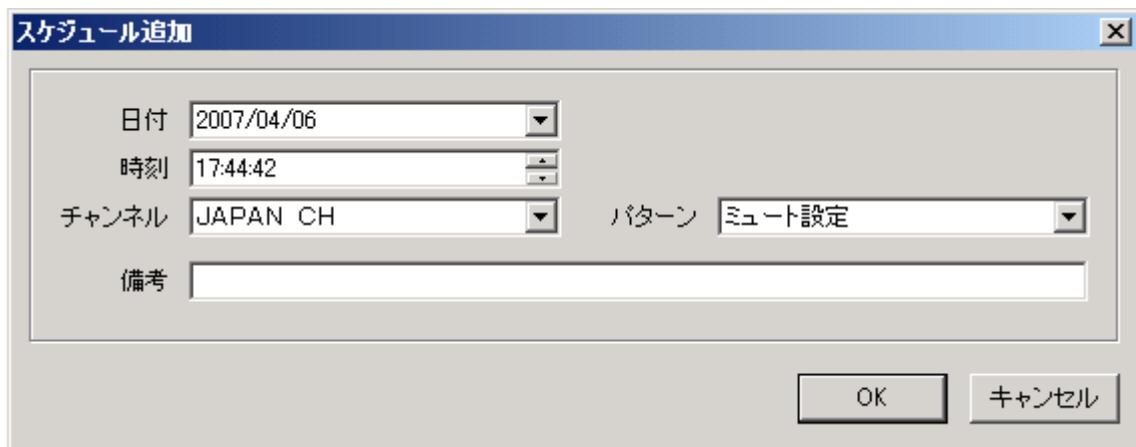
メニューバーより”スケジュール（J）”の”個別設定（M）”を左クリックします。

スケジュール編集画面になります。



このボタンで、スケジュールの追加・削除などを行います。

②スケジュール追加・変更画面

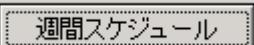


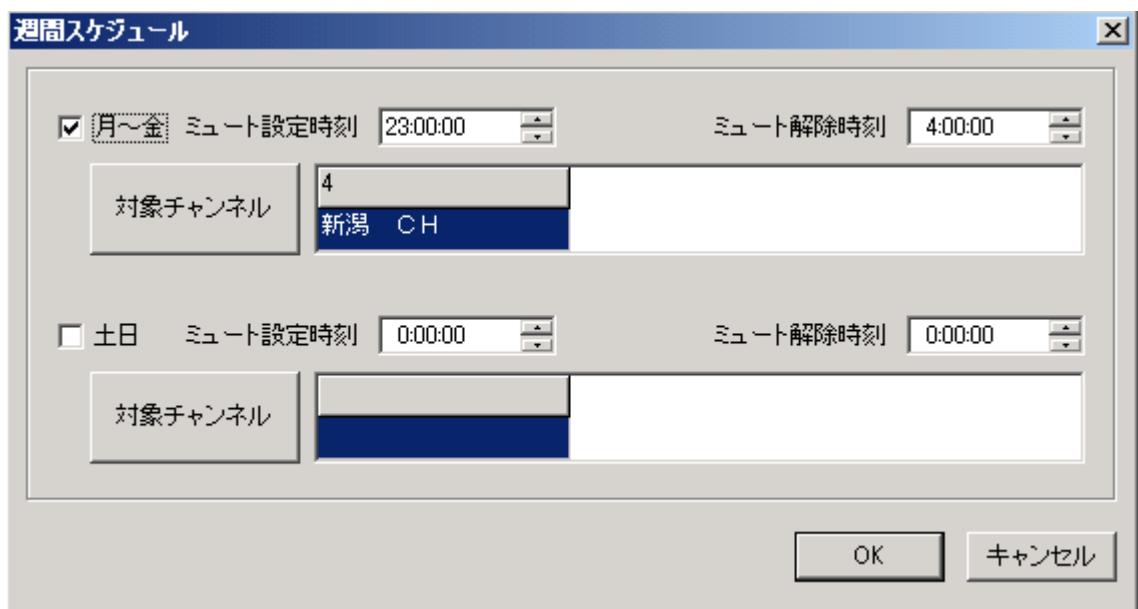
日付、時刻と該当する項目を入力してください。

パターン：ミュート設定／解除かを選択します。

備考：メモ欄です。

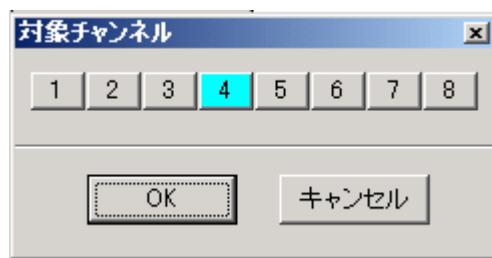
4-2. 週間スケジュールの設定

 のボタンを押すと、下記画面が表示されます。



この画面で、月～金 または 土日 の2種類のスケジュールを設定することができます。

- ・『チェックマーク』ありで週間スケジュール有効となります。
- ・『ミュート設定時刻』は対象チャンネルについてミュート設定する時刻です。
- ・『ミュート解除時刻』は対象チャンネルについてミュート解除する時刻です。
- ・『対象チャンネル』ボタンを押下すると、下記画面が表示されます。



この画面で対象チャンネルを選択します。

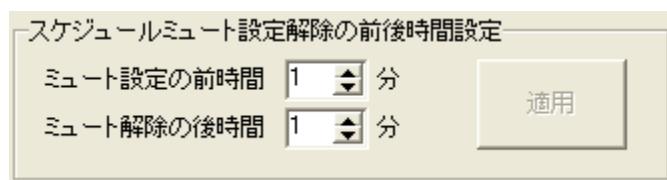
クリックするごとに、選択（水色）、選択解除（グレー）に変わります。

この画面はチャンネル数により画面の高さが変わります。

『OK』ボタンを押下すると、前画面の対象チャンネル一覧が表示更新されます。

4-3. スケジュール動作時の前後時間設定

スケジュール実行に際し、前後時間が設定できます。



①ミュート設定の前時間設定

スケジュール時刻の〇〇分前にミュート設定が行われます。

②ミュート解除の後時間

スケジュール時刻の〇〇分後にミュート設定が行われます。

※前後時間の設定とスケジュール実行時刻

(分) 前時間	(分) 後時間	スケジュール登録時刻		スケジュール実行時刻	
		ミュート設定	ミュート解除	ミュート設定	ミュート解除
0	0	3:00:00	3:01:00	3:00:00	3:01:00
1	1	3:00:00	3:01:00	2:59:00	3:02:00
1	1	6/21 0:00:00	6/21 23:59:00	6/20 23:59:00	6/22 0:00:00

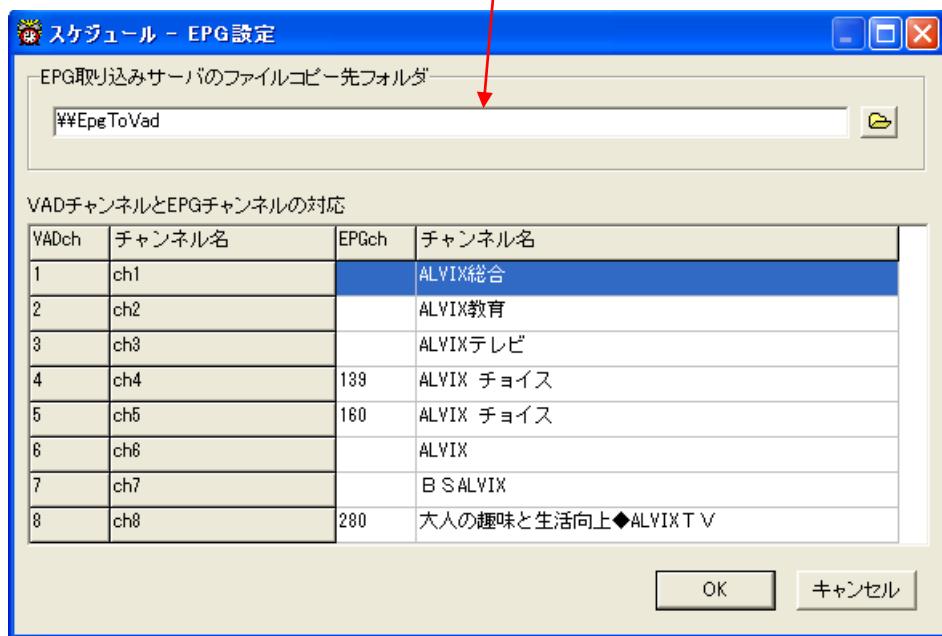
4-4. EPG データ取得によるスケジュールの自動登録（オプション）

インターネット上のEPGデータを元に、ミュート設定、ミュート解除のスケジュールを自動的に登録します。なお、本機能はプロトタイプ版であり、別途「EPGデータ取得ソフト」が必要です。

①EPG 取り込み設定

メニュー「スケジュール (J)」の「EPG 取り込み設定 (E)」を左クリックします。EPG 設定画面になります。

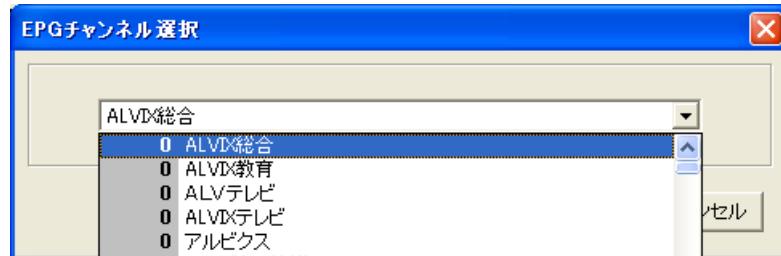
EPG 収集ソフトが動作しているPCの共有フォルダを設定します。



②VAERR 側チャンネルと EPG 収集側チャンネルのリンク付け

左側のチャンネル名は VAERR 側チャンネル名を、右側のチャンネル名は EPG 収集ソフト側のチャンネル名を表示しています。

変更したいチャンネル行をダブルクリックするとチャンネル選択画面が表示されます。



選択肢の中から VAERR 側チャンネルに該当する EPG 側チャンネルを選択します。

この操作を監視したいチャンネル数分繰り返します。

ただし、コミュニティチャンネル(ローカルチャンネル)は EPG データがありませんので設定できません。

③スケジュールの自動登録

EPG収集ソフトは2時間に一回EPG情報を収集しています。

VAERRソフトはEPGデータの更新を監視しており、変化があった場合はスケジュールを登録し直します。これにより最新の状態を保ちます。

ここで自動登録したスケジュールは編集（変更・削除）可能です。

また、EPG登録されたスケジュールも前後時間設定の対象となります。

EPGデータより自動登録したスケジュールの場合、「○」が表示されます。



④運用上の注意点

先述しましたように本機能はプロトタイプであり、また元とするデータがインターネット上のデータということで 100%信頼がおけるものではありません。

以下に挙げる点に注意し運用を行ってください。

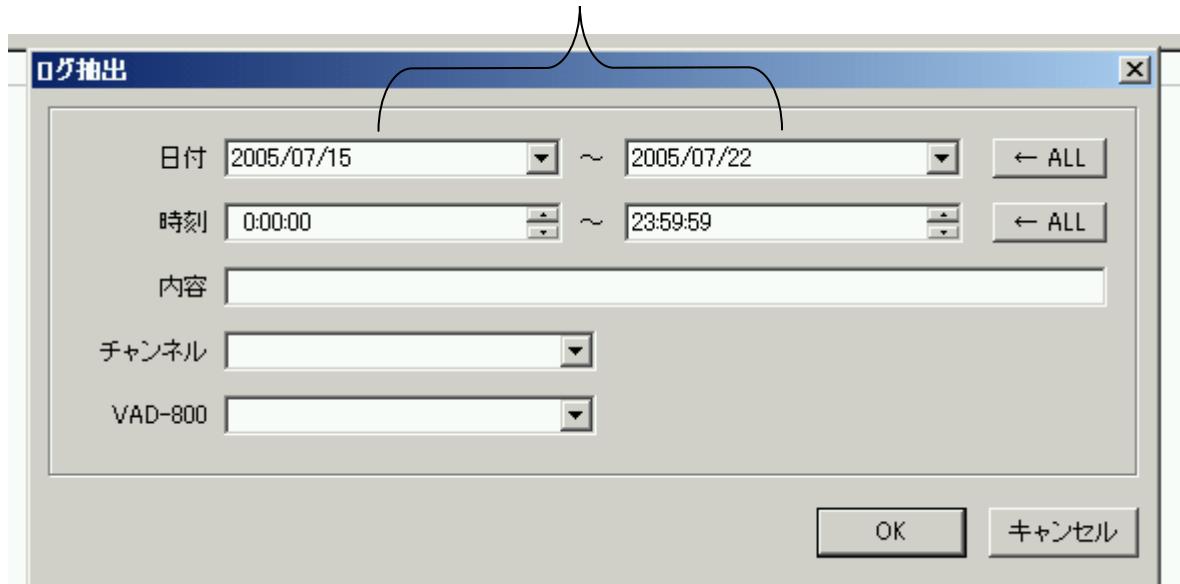
- ・放送休止時、「放送休止」や「カラーバー」などのタイトルで番組として登録されていることがあります。
 - このスケジュールをそのまま運用するとフリーズ（または放送休止）がアラームとしてロギングされます。
ごく一部のチャンネルで少ない頻度でこのようなことが発生します。
- ・月替り時、元EPGデータが更新されていないことがあります。
 - 連續で終夜放送されていたチャンネルが月替り時に 5:30～6:00 まで休止したりします。
実は新番組が始まる予定となっており、その情報が取得元のEPGに反映されていない。
これは供給元にデータがないためであり、対応不可能となります。
- ・終了時間不定の番組や延長に対応できない
 - スポーツ中継などで、番組終了予定時刻 2:00 に終了せず延長した場合、延長部分は未検知となります。（番組終了予定時刻で検知終了）
取得元EPGデータの更新は朝 5 時に行うとの注意書きあり (infoseek テレビ番組表)
上記のことから、延長があった場合でもEPGデータは更新されないものと思われます。
(複数回更新無し)

5. ログ抽出（メニューバー）

●ログリストから、日付・時刻・チャンネル名・アラーム内容・ユニットNOの条件を指定して、抽出することができます。

①メニューバーの“ログ抽出（L）”を左クリックします。

抽出したい日付と時刻の範囲を設定します。



内容：抽出したいログ内容を入力します。

チャンネル：抽出したいチャンネルを選択します。

VAD-800：抽出したいユニットを選択します。

②条件を指定してOKボタンを押すと、別に抽出口ログウィンドウが開いて、指定の条件に合致するリストが表示されます。

6. バージョン情報（メニューバー）

●コントロールソフトウェアのバージョン情報を表示します。

①メニューバーの“バージョン情報（V）”を左クリックします。



7. 終了（メニューバー）

●コントロールソフトウェアを終了します。

①メニューバーの“終了（X）”を左クリックします。



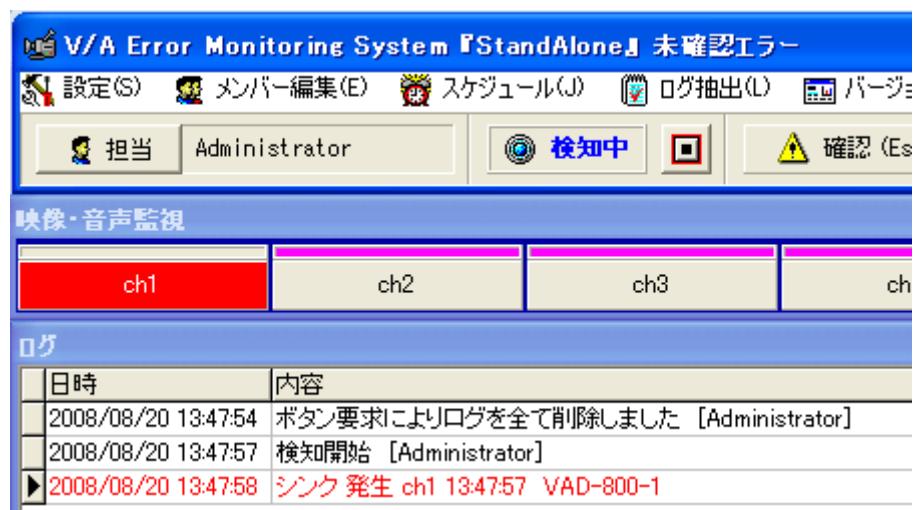
8. 運用方法

(1) 全ての設定が終了したら、停止中の横のを左クリックし、エラーのモニタリングを開始します。



(検知停止ボタン) に変化し、ボタン内のLEDが点滅します。

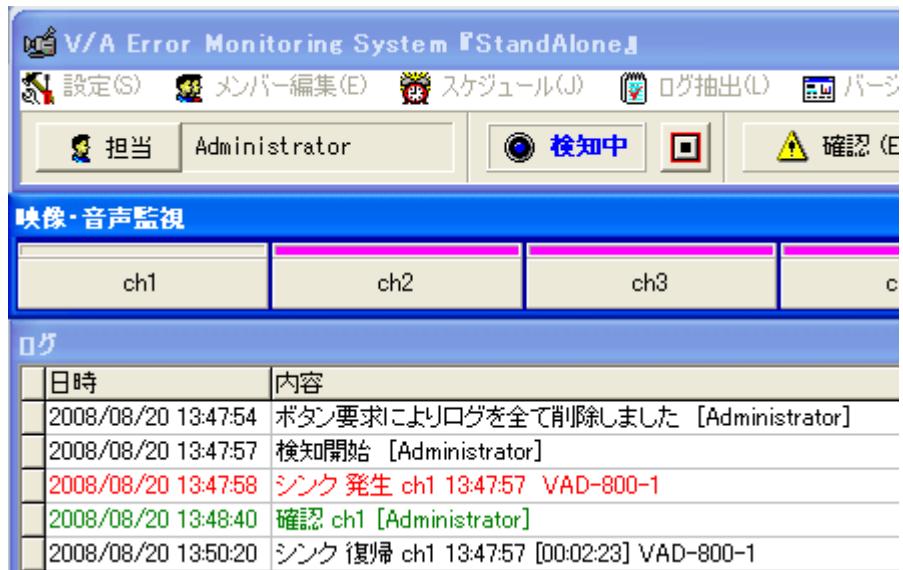
(2) エラーが検知されると、該当するエラーのチャンネルボタンが赤色に変わるとともに、ログリストにログが追加されます。



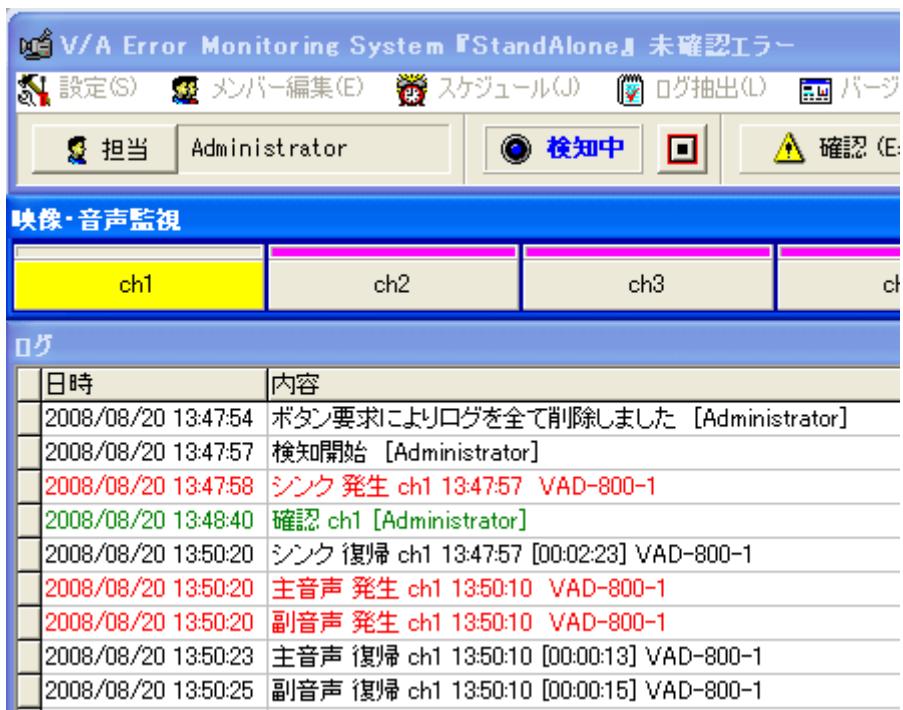
(3) エラーのチャンネルを左クリックし、ソフト上で確認すると、ボタンは緑色に変わります。また、ESCキーを押すことにより、全てのエラーを確認したとみなし、ボタンは緑色に変わります。



(4) エラー自体が復帰すると、通常のボタン状態に戻ります。



(5) 確認作業をしないうちに、エラーが自然復帰すると、ボタンは黄色に変わります。

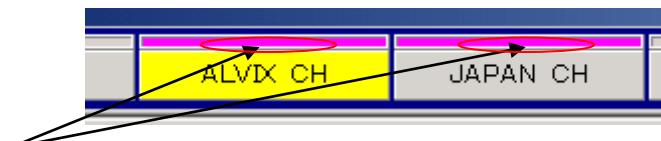


黄色ボタンの左クリックを確認作業とみなし、エラーは既に復帰しておりますので、通常のボタン（灰色）に戻ります。

(!) チャンネルのミュート（検知対象外）について

チャンネル毎に検知の対象から除外することができます。（メンテナンス時や放送休止時などに使用できます）

各チャンネルのボタンの上部をダブルクリックすることで、設定できます。ミュートチャンネルはボタン上部がピンク表示になります。



ここをダブルクリックすることで、チャンネルのミュートを設定・解除できます。

ミュート中はチャンネルボタンの上部がピンクで表示されます。

9. 特記事項

9-1. インストールフォルダにあるファイルについて

インストールフォルダにあるファイルは管理ソフトで使用している重要なファイルです。
手動で編集、変更する事はお控えください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038